

例会で出ているが、それ以前の問題で、契約をする時には、やはり予算の裏打ちがなければ契約はできない。

そういうことから、執行残があつたにせよ、今後こういった不適切な事務処理がないよう、適切に判断していただくよう要望する。

《反対討論②》

総務委員会で2日間にわたって審議した。

まず最初、初日は市長が昨年の12月10日に全協で言われたことについて、地盤沈下じゃないということ、説明があつたので、なせ12月に地盤沈下ではないのに、今補正が上がってくるのかということ、実際何cmの沈下があつているのかと聞いたら、30cmということから、その沈下に対する質問が殺到した。

ここではなかなか分からないということ、もう1回25日に説明を受け質問をした。最初は何が問題かと思っていたが、沈下の抑制をするための、昨年の県の埋め立て工事が終わって、調査も全て

完了した後に、次の業者が建物を建てる時に沈下が認められたと。それを市長は沈下じゃないということ、上の部分が潮の満ち引きで流れ出たというようなことも耳にしたが、これを抑制するための工事が6,700万ということのようである。

何で追加工事の予算を上げなかったのかと聞いた時に、請負契約金額の約2割は追加工事をしてもいいような説明だった。それで通せばということだったが、実はこの建物の工事は今年の12月15日が工期ということ、附帯決議は、計上すべき時期が違っていると書いてあるが、今回の補正の立て方は、既に執行した6,700万と、これから補正を求めて仕事をすると、煙の工事費と足して8千数百万の中から、執行残が5,090万あると。

全体の金額から執行残を引いた差額が今回補正に上げられているという説明だった。

そこで、執行に対しては、予算がなければ執行できないと。議会も財産

の管理、市民から負託を受けた議員として、予算がないのに執行したというところは、これからこういうことをしないようにと附帯決議をつけた。

今のままで、業者は今の契約でできるものと確認して着工されたのかなということ、これからは、もう既に終わった工事としては、契約変更はできないと考える。

《請願第2号》国に対し

「2019年10月からの消費税率10%への引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願書

《賛成討論①》

3点、賛成の立場で言いたい。

まず、国会議員の削減が第1。第2が、軽減税率の導入に伴う8%と10%の困惑する商品、そういうものが住民に対し十分な説明が行われていない。第3が、日本の防衛費等の莫大な金を削減することによって、ある程度賄うことができるのではないかと。今この政府の現状として

《反対討論①》

今の政府の現状として

は、軽減税率対策として、レジ等の補助も4分の3、規制があるがそういうこともやっている。

また、この請願は今回で3回目である。過去2回不採択になつている。特に今回は賛否同数であり、委員長採決で不採択にした経緯がある。今回は常任委員の異動があり、委員6名で、採決できるのは私以外5名である。

賛成多数で採択されたが、私は委員長として総務委員会の審査結果を報告する立場であつて、自分の意見ではない。個人の意思を表すのが本会議の席であると思つている。

そういう観点から、私は個人として、こうした立場もあり、委員会で採択が、なぜ不採択かという意見もあるので、そういうことを説明の意味でも反対とする。

《賛成討論②》

内閣府は3月分の景気動向指数の基調判断について、「下方への局面変化」から「悪化」に引き下げた。悪化は最も厳しい判断で6年2カ月ぶり、非常事態である。

今回の10%への増税は、政府が景気悪化の可能性を認める中でのものである。強行するならば、歴史的にも前例がない無謀きわまる増税である。世論調査でも増税中止は過半数に上つている。

安倍政権は、消費税増税について、社会保障のため、財政健全化のためと言っている。しかし、実際には消費税導入後も社会保障の改悪が続き、財政も大幅に悪化した。

なぜそうなつたのか。大企業向けの減税や金持ち減税が繰り返されてきたことである。また消費税増税をきっかけに、家計消費が冷え込み、経済が悪化して、法人税や所得税の税収が減つたことである。

これでは、社会保障も財政もよくなるはずはない。こんな経済状況で消費税を10%に増税してもよいのか。

政府は消費税増税の一方で、法人税を引き下げようとしている。消費税は保育所や幼稚園の無償化、大学の奨学金など社会保障費に使うと言つて

いる。その制度もまた問題を多く抱えている。今消費税を10%に上げると大変なことになるということで賛成。

《反対討論②》

今回の条例の中にも出てきている市税の条例の一部を改正する条例、保育等の設備整備などの条例案、令和元年度の一般会計の中にも、今回の消費税増税にあわせての事業が入つているということ、そこに対しての反対というのがなく、ここにだけ聞かえがいいところ、ただ反対というのはおかしいと思う。

《賛成討論③》

委員会で賛成しているので、ここで賛成をさせていたかと思つた。委員会の中では、たびたび消費税引き上げに対する請願が出てくるという批判に対しては、批判に負けず何回でも出されて結構ということ、私は言っている。中身が徐々に変わってきていることも承知していた。

最近思うことが、2千万円持っていなければ95歳まで生きられないとか、